

# MATERIAL FLOW

物流・流通・MHの現場力向上マガジン

月刊 マテリアルフロー

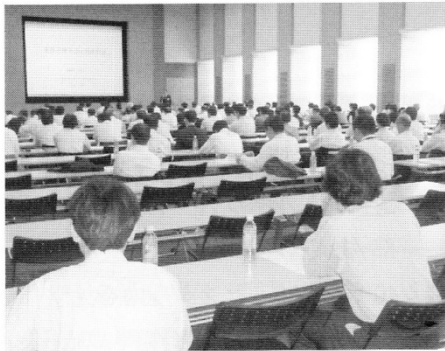
## 日本物流不動産評価機構, 3周年記念セミナーを9月3日に開催

日本物流不動産評価機構推進協議会(JA-LPA)は9月3日、東京都港区の日本通運本社ビルで、発足3周年を記念したセミナーを開催した。

JA-LPAが物流施設・物流業界に

関する最新テーマで毎年開催しているセミナーで、今年は3回目となる。

今回のテーマは「物流不動産市場の変化を予測する～世界的な経済情勢が日本に及ぼす影響について～」



▲JA-LPA3周年記念セミナー

と題し、マクロの経済から物流業界の動きに落とし込んだ内容だった。

基調講演は、日本政策投資銀行・産業調査部田中賢治氏の「世界同時不況と日本経済」。サブプライム・ローンの仕組みを解説、証券化でリスクが世界へ拡散した実態を分析した。

また田中氏は世界同時不況で日本の成長率が先進国中で最低になっていることを指摘、民間内需にうまく点火しなければ2010年度に二番底の可能性もあることを示唆した。

続いて登壇した(株)イーソーコ総合研究所の河田榮司社長は「激変する物流不動産市場 その実態と新潮流勝ち残り戦略とは」として、世界経済の激変が物流不動産にもたらした影響から、今後の開発動向までを解説。

河田氏は市場の回復には「2～3年」、急激に増大する空き倉庫については「一巡するまで1年間くらいかかるだろう」との見解を示した。今後の勝ち残り戦略については、「資産のケアと投資機会のウォッチを常に行い、専門化とのネットワークが不可欠」と語った。

続いて(株)ロジラテジー・島田英俊税理士は「中堅・中小企業の財務と事業承継 今、物流企業経営者が考えるべきこと」と題し、経営者を対象とした企業価値の上げ方、物流業の事業継承などにつき多角的に分析を行った。